

港、澳、粵 學生交流會

2010年12月18日に私たち日本語学科の1年生と3年生は深圳（シンセン）にある「深圳職業技術學院」にて、香港・マカオ・広東 日本研究大学聯合主催の學生交流會および講演會に参加しました。マカオ、広東、そして當校の日本語を学ぶ學生が集まり、學生同士の交流や講演を聞きました。



私たちはグループに分けられ、深圳大學、マカオ大學などの學生と一緒にビデオを見て、提出されたテーマについて日本語で討論し、自分の事についても話しました。その後、ホールで講演會が行われ、「日本語教育のスタンダード」、「日本企業に必要な人材」、「現在の台灣の日本語の位地」という3つのテーマについて聞きました。最後に抽選コーナーがあったので、學生たちはどんな商品が当たるかと、とても盛り上がりました。當校の學生、宋穎欣も獲得することができました。

私たちは常に自分の學校で過ごしているせいか、深圳職業技術學院を見た時は、色々と新鮮で驚くことばかりでした。例えば、その大きさは大學に負けないほどで、私たち全員は唖然としました。しかもどの建物も美しく、中でもいちばん印象に残ったのは建物全体が薄いピンク色で、入り口が大量のつたにからまれた大きい建物でした。アニメや漫画の世界にある建物のように、思わずうっとりしました。学食も非常に安く、内容も豊富で、しかも思った以上においしかったです。

他の學校の學生との交流は楽しかったですが、困ったこともありました。いちばん困ったのは中国語（北京語）です。わたしたちは普段廣東語を話し、北京語はあまり流暢ではないので、特に深圳の學生たちとの會話が大変でした。幸い分からない時は日本語で話し、お互い理解しあうことができました。それと同時に、日本語だけではなく、北京語の會話をもっと勉強しておけばよかったと反省しました。交流會や講演會を通じて、普段では学べないことを学ぶことができました。朝から夕方までだったため、夜、香港へ帰ってきた時、疲れましたが、機会があったらまた行きたいほど、いい思い出になりました。

2010年12月18號，我們現代日語1年生和3年生參加了由港澳粵大學聯盟主辦，在「深圳職業技術學院」舉行的交流會和發佈會。當日有來自香港、澳門、廣洲以及深圳等地區的學校的日語專業學生參加，是一個非常盛大的交流會。

開始時，我們和深圳、澳門等地的同學分成小組，以日語進行交談，研討了有關日語和自身學習的事，還看了一些相關的錄像節目。然後，我們來到演講廳，聽了三個有關日語的發佈會。分別為「日語教育的標準」、「日本企業所需的人材」和「現今日語在台灣的地位」。在發佈會的最後，還有抽籤獎賞環節，所有學生都猜想自己會得到哪樣的禮品而顯得非常雀躍。而本校的同學宋穎欣也抽中了精美的獎品。

不知道是否習慣了生活在自己的校園裏，當來到深圳職業技術學院時，我們都被周圍的新鮮景物吸引住。例如那個廣闊的校園最使我們嘆為觀止，而每座建築物都非常宏偉。而印象最深刻的，是一座牆身為淡粉紅色，入口佈滿了許多牽藤植物的建築物，給人一種彷彿進入了漫畫世界裏的感覺。

能夠和其他地區學校的同學交流，是一件非常開心的事。可是，也有感到困難的地方，特別是普通話。由於日常生活裏只會用到廣東話，所以當和深圳的朋友交談時，感到特別吃力。幸好的是，當不明白時，我們能夠利用日語來溝通，互相理解彼此。與此同時，我們還意識到除了日語外，亦應該學好普通話。一整天的交流會和發佈會過後，我們從中學會了許多課外的知識。回港時，天已變得一片漆黑，我們覺得非常疲累。可是，若然再有這樣的交流機會，還是很想再次參與，再多締造一些美好的回憶。